

GREEN×EXPO 2027—— 花と緑が示す「明日の風景」



農林水産省 農産局
局長 山口 靖

■ はじめに——2027年、横浜を訪れる「半年間の未来」

2027年3月19日から9月26日まで神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）で、半年間に渡り繰り広げられる“明日の風景”。それが GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）です。会場には、季節折々の花と緑、約1,000万株が集う予定です。

園芸博覧会と聞くと、園芸業界のためのイベントと思われる方も多いかもかもしれませんが、今回の園芸博覧会は、それだけにとどまりません。地球規模の環境課題、都市と自然の関係性、地方が抱える構造的課題、それを解決するための最新技術まで——実は非常に幅広いテーマが交差する場として企画されています。

国際園芸博覧会は国際条約に基づく大規模な博覧会で、その格付けの中でも GREEN×EXPO 2027は最上位（A1）クラスに位置づけられています。日本でA1クラスの国際園芸博覧会が開催されるのは1990年の「大阪花の万博」以来、実に37年ぶりとなります。

ただ「久しぶり」というだけではありません。30年の時を経て、世界も日本も事情がすっかり変わりました。地球温暖化、生物多様性の喪失、人口減少社会の深刻化、農業者の高齢化や農地の荒廃、気候変動に伴う自然災害の激甚化など。これらが複雑に絡み合い、私たちは“持続可能な未来”の設計を避けて通れなくなっています。そんな時代に、開催されるのが今回の「GREEN×EXPO 2027」です。

【GREEN×EXPO 2027開催概要】

名称	2027年国際園芸博覧会
正式略称	GREEN×EXPO 2027
テーマ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
会場	神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）
開催期間	2027年3月19日～2027年9月26日
博覧会区域	約100ha（内、会場区域80ha）
有料来場者数	1,000万人